

「札幌医科大学公式ホームページ(日本語サイト・英語サイト)再構築制作仕様書」

1. CMS(コンテンツマネジメントシステム)について

1-1 システム導入の基本方針

- ・導入する CMS は、既に大学、企業、官公庁等のサイトで稼働実績のある CMS パッケージソフトを納入すること。パッケージにない機能は、別途連動プログラム等で対応可能なこと。
- ・CMS の構築にあたっては、ユーザ数、ページ容量、アクセス数などを勘案の上、快適な運用を確保するよう提案すること。
- ・サイト全体をアクセシビリティに配慮した統一したデザインで構築し、専門的な知識や操作技術を必要とせず、情報発信源である担当者が容易にホームページ用のページを作成、更新、管理できるシステムとする。システム形態は、一般的なブラウザを利用する Web 方式とする。

1-2 新ホームページの納品日

平成22年3月31日までの期間

1-3 動作環境

- ① CMS パッケージソフトウェア一式は本学附属総合情報センターにて、管理・設置している以下のサーバ、および OS にインストールが可能なこと。

CMS Server : Apple 社 X serve (Z0E7)

OS : Solaris10

- ② 公開サーバについては、モジュール等の追加、および修正などの変更を要しないこと。
- ③ CMS サーバから公開サーバに固定アカウントで FTP 可能であること。
- ④ ウィルス対策、セキュリティ対策を十分に確保すること。
- ⑤ 万が一データを消失しても迅速な復旧が可能なシステムとすること。
- ⑥ 障害対応時を除く、通常の運用において、保守費用がかからないこと。

1-4 CMS のシステムおよび機能要件……(◎必須項目、○要望項目)

(1) 基本項目

① 安全性の確保

◎システムの安全対策については、万全を期すこと。CMS のサーバは非公開エリアに置き、不正侵入の危険性を最小限に保つこと。また、公開サーバとは別マシンで運用し、サービスが同時に停止することがないようなシステムとすること。

② 操作権限

◎管理画面より操作権限の登録及び変更ができること。また、ユーザ名／パスワードによりシステムにログインできること。

③ 操作ガイド・操作研修用マニュアル

◎操作マニュアルを納入すること。(管理者向け、担当者向けの冊子 1 部、電子ファイル 1 部)

◎札幌医科大学の意向を踏まえた操作研修マニュアルを作成すること。

④ページの登録・管理

- ◎Web ブラウザを使用し、ページの作成・登録ができること。
- ◎ページ本文の作成は HTML 言語を意識することなく、ワープロ感覚で入力可能であること。
- ◎ページ作成は、設計されたテンプレートに基づいて入力できること。
- ◎ページのプレビューを公開前に簡単にできること。
- ◎ページの公開期間(掲載日時～削除日時)が設定できること。
- ◎ページの版管理ができること。(世代管理・ロールバック機能)
- ページに分類を設定できること。
- ページにキーワードを設定できること(上記分類とは別)。
- JIS X8341-3(高齢者・障害者等配慮設計方針—情報通信機器における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ)に対応したページがある程度意識せずに作成できること。

⑤ユーザビリティ・アクセシビリティへの配慮

- ◎新着情報が自動的にトップページに表示されること。
- ◎「サイトマップ」が自動的に生成され、常に最新の状態であること。
- ◎「パンくずリスト」は自動生成され(リンク機能も装備している)、かつ常に表示されること。
- ◎メニューなどで、公開すべきページが存在しない分類は表示しないことが可能であること。
- ◎全てのページでタイトルが適切に設定されること。
- ◎音声読み上げソフト利用時に、ナビゲーションをスキップでき、読み上げ内容が理解できるよう、読み上げ順などに配慮されていること。
- ◎ブラウザの機能に頼らず文字の大きさを可変できる機能を有していること。
- ◎画像に alt(代替文字)を設定可能であること。
- ページ本文には適切に見出しが設定でき、これらの見栄えはスタイルシートで定義すること。
- サイト全体の基本デザインをスタイルシートで定義すること。また基本デザインではテーブルを利用しないこと。

⑥画像、添付ファイル

- ◎画像や PDF 等のファイルをブラウザ上からアップロードできること。
- ◎複数画像の登録が可能なこと。(画像の登録数に制限がないこと。)
- PDF 等の添付ファイルの登録を行った際に、ファイルサイズやアイコン表示などの情報が自動で表示されること。

(2) ユーザの管理機能

- ◎ユーザのプロファイル(氏名・所属・メールアドレス等)の登録、変更、削除が可能であること。
- ◎ユーザ登録は、システム管理ユーザが行え、ID、パスワード、ユーザプロフィールを登録しユーザアカウントを作成できること。
- ◎ユーザアカウントには有効期限が設定可能であること。また、一時的にアカウントを休止する機能を有していること。

- ◎ログインするユーザ別に、ページの作成編集、審査・承認・公開などの役割を(権限)を与える機能を有していること。
- ◎一人のユーザに複数の役割(権限)を組み合わせ設定できること。
- ユーザがログインした状態で、何もせずに放置した場合の自動ログアウト(セッションタイムアウト)時間を設定可能なこと。
- ユーザ数の制限がないこと。

(3) ページ管理機能

- ◎ 公開までのワークフローの設定が2段階以上設定可能であること。
[例:作成編集(担当者)－ 審査・承認(広報担当)－ 公開]
- ◎審査・承認・公開者は依頼されたページをプレビューし、公開が可能であること。
- ◎ 審査・承認・公開者がログインした際には、審査・承認・公開すべきページが一覧形式で画面表示されること。
- ページ編集、承認の履歴を蓄積して、参照可能なこと。
- 承認依頼メール、承認完了メール、および承認遅延警告メールなどのメール配信機能があること。

(4) サイト管理機能

- ◎ サイト全体の基本デザインをスタイルシートで定義し、スタイルシートを変更することで瞬時にデザインを変更できること。
- ◎ パンくずリストを自動生成できること。
- ◎ 全てのページで共通ヘッダ(ロゴ、グローバルナビゲーション)が表示できること。
- ◎ 全てのページウインドウにサイト名及びページ名(または分類名)が自動生成されること。
- ◎ サイトマップを自動生成できること。
- ◎ SEO(サーチエンジン最適化)に有利な静的HTMLをサイト公開時に自動生成される機能を有していること。
- ◎新着情報をRSSとして公開可能なこと。またRSSを定期的に自動生成できること。
- ◎ トップページに分類ごとの新着一覧を自動表示可能であること。
- サイトマップとして分類やページをツリー構造で自動的に一覧表示することが可能であること。
- キーワードをクリックすることで、関連するページへ自動的にジャンプできること。
- 末端ページに該当の分類の新着一覧など、サイトの回遊性を高めるリンクを自動生成できること。
- 今後、SEO(サーチエンジン最適化)やアクセシビリティ基準などの要件が変わった場合も、テンプレートなどの修正で対応が可能なこと。
- テンプレートに記述可能な言語やタグに制約がないこと。また、言語の種類が異なってもコンテンツのリンク関係を自由に定義できること。
- 他サイトのRSSを自動取得可能なこと。
- 携帯用サイトも将来的に構築可能なこと。(ドコモ・au・Softbankの3キャリア程度)

(5) 検索機能

◎Google 等を利用した全文検索機能を設置可能なこと。

(6) アクセス解析

◎アクセス解析機能を有するか、他のアクセス解析ソフト等を組み合わせて搭載が可能なこと。

(7) 地図情報

◎Google Map 等を利用した地図情報を表示可能なこと。

(8) 運用管理機能

◎日本語版・英語版のサイトを1つの CMS 内に構築し一元的な管理運用が可能なこと。

◎CMS は公開サーバ(外部サーバ)に構築することなく、本学指定の別サーバ内に構築し、静的ファイルを公開サーバに FTP する機能を有すること。

◎CMS パッケージソフトのバグフィクス版、機能追加された新バージョンへのバージョンアップは無償で行えること。

◎サイトをアーカイブファイルとしてエクスポート及びインポートができること。

2. ホームページリニューアルについて……(◎必須項目、○要望項目)

2-1 現状サイトの分析及び課題の抽出

- ◎札幌医科大学のホームページ(日本語サイト・英語サイト)について現状を分析し、特徴点や問題点などを抽出した上で、全体構成およびデータ移行を行うこと。

2-2 前提条件

- ◎札幌医科大学の意向を反映した上でユーザビリティに配慮し、利用者の立場に立ったデザインとすること。
- ◎各サイトの操作性に差異が生じないように、十分配慮すること。
- ◎アクセシビリティに対応すること。
- ◎W3Cの規定する Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 1.0 に対応し、JIS X 8341-3:2004 に準拠すること。
- ◎HP デザインや HP 内に配置する画像等は、第三者の知的所有権を侵害しないものとする。
- 配色については、ユニバーサルカラーデザインの考え方(色覚の個人差を問わずできるだけ多くの方に見やすく作られたデザイン)を充分考慮してデザインを行うこと。

2-3 サイトデザイン作成の基本方針

- ◎札幌医科大学の特性に十分配慮し、サイトトップページのデザイン及びサイト内コンテンツのデザインを魅力ある見やすく使いやすいデザインにて作成すること。
- ◎作成にあたっては、ホームページ管理者等から意向を聞き取り、内容を反映させたものとする。
- ◎作成したデザインコンテンツは、編集可能なデータ形式で納品すること。

2-4 トップページ

- ◎トップページは Flash を使用した視覚的に動きのあるデザイン構築が可能なこと。
(※読み上げソフト等へも対応が可能であること。)
- ◎トップページおよびテンプレートは、打ち合わせの上、デザイン案を作成し、要望に応じて最終デザインが決定するまで変更が可能な部分においてはデザイン変更迅速に対応できること。
- ◎トップページ内の指定したメニューについては、組織改編に伴うメニューの追加変更削除が可能であること。

2-5 構造設計、カテゴリ分類作成

- ◎現状のサイト分析結果を踏まえた上で、最適なサイト構造設計を実施すること。
- ◎利用者が容易に目的としている情報にたどり着くことができる、最適なカテゴリ分類項目を作成すること。
- ◎登録するコンテンツの内容に応じて、適切な承認ルートを設計すると共に、アクセス権限を設計すること。
- ◎サイト構造、各カテゴリ分類などの設計ドキュメントを、Excel 形式のデータで納品すること。
- ◎ページ作成に関するガイドラインを作成し、納品すること。
- ◎ガイドラインの内容については、ユーザビリティ及びアクセシビリティに対して十分に配慮した内容であると共に、担当者と協議し承認を得たものとする。

2-6 サイトテンプレート・ページテンプレート作成

- ◎頻繁に更新が発生するページについてはテンプレートを提案し作成すること。
- ◎作成にあたっては、サイト管理者及びコンテンツ作成担当者と十分に協議し、札幌医科大学の意向を反映させたものとする。

2-7 ページ作成・移行作業

- ◎現在のホームページに記載されている内容を分類・整理するとともに、札幌医科大学の意向を反映させたページを作成し閲覧できるようにすること。
- ◎必要なデータ移行を期間内に完了させること。
- ◎札幌医科大学より指定したユーザ登録を行った上で納品すること。

2-8 操作研修

以下の操作研修を実施すること。なお、実際の開催回数については、担当者と協議し決定するものとする。

- ◎ サイト管理者操作研修(1 回想定 10名程度)
- ◎ ページ作成者操作研修(2 回想定 各30名程度)

開催に必要な場所・ハードウェアは本学で設置・準備する。

各研修の実施に当たっては参加人数分の操作説明資料を準備すること。

ページ作成者操作研修、サイト管理者操作研修会で使用する操作説明資料の内容については、事前に担当者と協議し、承認を得たものを使用すること。

2-9 運用サポート

- ◎操作研修後のページ作成及び CMS の運用に関わる問い合わせについて個別に対応すること。
対応期間は、操作研修後から新ホームページ公開までとする。
- ◎CMS サーバの管理運用方法、CMS パッケージの更新、想定される障害時の対応方法についてのサポートおよびレクチャーを管理者向けに個別に行うこと。
- ◎導入後の質問や問い合わせに対応可能であること。

2-10 その他

- ◎本学のサイトポリシーおよびプライバシーポリシーを遵守すること。
- ◎本仕様書に定めのない事項については、本学と受託者において協議の上決定する。
- ◎納品された成果物の知的所有権は本学に帰属するものとする。